第20号
すいかずら

平成23年3月31日発行
編　集：社寺建造物美術協議会
発行人：原　登

〒108-0014　東京都港区芝4丁目4番5号
三田KMビル3階
㈱小西美術工藝社内
TEL: 03-5765-1481　FAX: 03-3455-9250

通常総会報告

平成22年4月20日、東京都港区明治記念館「若竹の間」に於いて平成22年度の第一回通常総会が開催されました。

まずは今回の議長を務める澤野道玄前会長により、平成21年度の事業報告がされた後、原　登新会長が紹介されました。その他、平成22年度の研修事業や会則の改訂など6つの議事について話し合いが行われ、新体制となるにあたり、有限会社齋藤漆工芸が新たに理事として承認されました。本総会終了後には、理事一同で文京区の文化財建造物保存技術協会本部、文化庁へとご挨拶に伺いました。

文化庁では、今後の社美協の在り方について武内正和文化財調査官から助言を頂戴しました。調査官は過去3年間の補助事業を振り返った上で、保存技術に対するより深い理解を養うためにも、現物を前にした「実地研修」の重要さを説かれました。そして、今後もそういった場での技術者・設計監理者の両者を交えた意見交換を活発に行うことにより、プレゼンテーション力を養うと同時に、技術の向上へと繋げていってください、とのアドバイスをいただきました。さらに、お話は修理の実状にも及び、文化財の修理方針策定根拠を社美協の会員同士で共有し、また、基準を明確化していくようにと、ご指導いただきました。

＊

秋には会員研修と時期を同じくして、第二回通常総会が10月23日に静岡市葵区の静岡グランドホテル中島屋で催されました。新規賛助会員申請、協議会で保有する研修備品や資材の保管先と管理方法といった議事の他、話題は多岐に及びました。なお、今回の新規賛助会員の申請は、投票の結果、否決となりました。

文化財保存技術2010

文化財を支える「伝統の名匠」

【期間】平成22年9月19日・20日

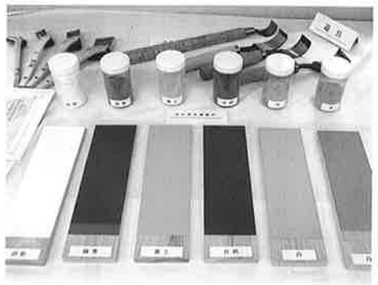
「伝統の名匠」展は、全国の保存技術団体が一堂に集結し、国内における文化財の修理や材料、道具などに関する現状を関係者、また一般の方々にも広く知っていただくという趣旨で毎年文化庁の主催で実施されています。

平成22年度は、平城遷都1300年記念事業で賑わう奈良県奈良市の平城宮跡での開催となりました。漆塗り、彩色、金具、丹塗の四部門を有する当協議会では、多種多彩な展示物と彩色・金箔押の体験コーナーで、たくさんの方々に足を運んでいただくことができました。

ふるさと文化財の森

『文化財建造物保存活用公開セミナー』

【期間】平成22年11月6日・7日



今年度もふるさと文化財の森『文化財建造物保存活用公開セミナー』が公益社団法人全国社寺等屋根工事技術保存会の主催で行われました。

今回は京都市文化財建造物保存技術センターを第一会場、清水寺の境内を第二会場、と二ケ所に分かれての開催となり、それぞれの立地とスペースを活かした展示と、体験コーナーを実施しました。第一会場では、パネル解説や丹塗施工模型・手板、材料・道具を並べ、見て、読んで情報を得る「展示」を主体に、漆、彩色、丹塗各部門のお仕事をご紹介しました。

一方、第二会場となった清水寺境内では実際の作業の一端に触れていただこうと、「絵馬の彩色」と「金箔押し」を実技体験コーナーとして日替わりで設けさせていただきました。

体験コーナーを終えて　―技術指導担当より報告―

「絵馬の彩色」

体験指導：有限会社川面美術研究所

普段馴染みのある絵具とは違い、初めて日本画画材に触れられる方も多く、その色づかい、細い墨線の描きかた等、指導員に積極的に質問する姿が見られました。来場の方には、「清水寺に観光に訪れ、思いがけずこういった日頃体験できない機会がもてたことは良かった」との声もあり、また、久々に筆を握られ一時間に亘る大作を完成させ、晴れやかにテントを後にした方もいらっしゃいました。

このような取組みを通じ、テント内で展示しました組物をはじめ建造物彩色に興味をもっていただくことは意義があることと思います。

「金箔押し」

体験指導：株式会社さわの道玄

実際に金箔に触れて、箔押しを体験する機会というものはなかなかないため、体験に訪れたみなさんからは貴重な体験ができたとの声を聞かせていただく事ができました。

また今回は屋外でのワークショップであったので、現場での手作業の難しさも感じていただけたのではないでしょうか。清水寺という、国内外からたくさんの方が訪れる場所であったこともあり、例年に比べて体験者数が多かったと感じましたが、このような機会をより多くの人に体験していただきたいと思います。

国庫補助事業

建造物装飾修理用資材等調査研修会

～「彩色・丹塗施工現場におけるカビ問題」検討会～

【期　間】平成22年6月28日（月）～6月29日（火）
【場　所】京都府立総合福祉会館「ハートピア京都」（京都市）
石清水八幡宮（京都府八幡市）
朱智神社（京都府京田辺市）
【参加事業所】㈱片山、㈲川面美術研究所、㈱小西美術工藝社、
㈲齋藤漆工芸　㈱さわの道玄、邑田漆芸㈱

今年度から新たに始まった、建造物装飾修理用資材等調査研修会では、第一回目として文化財修理の現場で遭遇する「カビ被害」をテーマに取り上げ、東京文化財研究所 名誉研究員の新井英夫氏、文化庁文化財部 調査官の武内正和氏、有限会社 川面美術研究所 主任研究員の松村年恒氏らを講師にお迎えし、6名の研修生と、文化財関係各位を含む傍聴生の総勢23名で講義、現地視察を交えた検討会を行いました。

検討会の時間内では、「カビ被害」に対する確実な解決策を導き出すには至りませんでしたが、研修では文化財関係の方々、専門家、所有者、そして技術者それぞれの立場から体験談や意見の交換がなされ、改めて本テーマが深刻な問題として捉えられていることを共通して認識し、今後の活発な情報共有と対応策の必要性を印象付ける研修となりました。

会員研修会

江戸初期の装飾建築【静岡県】

【期　間】平成22年10月22日（金）～10月23日（土）
【場　所】富士山本宮浅間大社（富士宮市）
静岡浅間神社（静岡市）
久能山東照宮（静岡市）
【参加事業所】㈱片山、㈱大谷相模掾鋳造所
㈲川面美術研究所、㈱小西美術工藝社、
㈲齋藤漆工芸、㈱さわの道玄
㈱はせがわ美術工芸、邑田漆芸㈱、
㈱森本錺金具製作所

今年度の会員研修会では、社団法人 全国国宝重要文化財所有者連盟 事務局長の後藤佐雅夫先生を講師としてお迎えし、静岡県内の代表的な社殿を廻ることになりました。

各現場ではご神職さまより社殿の歴史についてご案内頂いた後、後藤先生からは建物の様式や各部位に見られる時代判定のポイントといった見学する際の見所を分かりやすくご解説頂きました。二日目に訪れた久能山東照宮は、国宝に指定された直後の訪問となり、社美協からも祝辞を述べさせていただきました。

●平成 22 年度 社寺建造物美術協議会　事業報告●

平成22年	活動　（●は国庫補助事業）	場　　所
2月15日～2月19日	●丹塗研修会―掻き落とし作業―	於 京都府 石清水八幡宮手水社
3月1日～3月5日	●丹塗研修会―丹塗作業―	於 京都府 石清水八幡宮手水社
4月20日	第1回通常総会	於 東京都 明治記念館
5月26日	第1回理事会	於 メルパルク京都
6月9日	文化財修理技術保存連盟　理事会	於 京都市文化財保存技術研修センター
6月28日	第2回理事会	於 ハートピア京都
6月28日～6月29日	●建造物装飾修理用資材検討調査研修会	於 ハートピア京都、京都府 石清水八幡宮、朱智神社
7月8日	文化財修理技術保存連盟　理事会	於 京都市文化財保存技術研修センター
7月23日	第3回理事会	於 品川インターシティ
7月29日～8月11日	●後継者養成実技研修	(㈱さわの道玄：京都伝統工芸大学校)
7月30日	京都府文化財所有者等連絡協議会　総会	於 京都府 平安会館
8月6日	文化財修理技術保存連盟　理事会	於 京都市文化財保存技術研修センター
8月17日～8月28日	●後継者養成実技研修	(㈱小西美術工藝社：ものつくり大学)
8月30日～9月9日	●後継者養成実技研修	(㈱さわの道玄：大阪成蹊大学)
9月19日	全国文化財保存技術連合会 総会	於 奈良文化財研究所
9月19日～9月20日	文化財保存技術2010 ～文化財を支える「伝統の名匠」～	於 奈良県 平城宮跡
10月	第4回理事会　（通信）	
10月22日～10月23日	●会員研修	於 静岡県 富士山本宮浅間大社、静岡浅間大社、久能山東照宮
10月23日	第2回通常総会	於 静岡グランドホテル中島屋
11月6日～11月7日	ふるさと文化財の森　『文化財建造物保存活用公開セミナー』	於 清水寺、京都市文化財保存技術研修センター
11月9日～11月12日	●総合技術研修　―漆―	於 京都市　護王神社
11月14日	文化財修理技術保存連盟　理事会	於 ルビノ京都堀川
12月1日～12月3日	●総合技術研修　―金箔―	於 京都市　護王神社
12月13日	文化財修理技術保存連盟　理事会	於 京都市文化財保存技術研修センター
12月17日	京都府文化財所有者等連絡協議会研修会	於 三宅八幡神社
平成23年	**活動　（●は国庫補助事業）**	**場　　所**
2月7日	文化財修理技術保存連盟　理事会	於 京都市文化財保存技術研修センター
2月24日～2月26日	●建造物装飾模型製作研修	於 (㈱小西美術工藝社 日光工房
3月11日	伝統技術保存団体連絡協議会	於 ルビノ京都堀川
3月15日	京都府文化財保護推進会議	於 宗教法人醍醐寺 三宝院
3月25日	第5回理事会	於 メルパルク京都

総合技術研修

【場　所】護王神社（京都市上京区）

昨年に引き続いて行われた二カ年企画の総合技術研修は、一年時に護王神社様祈願殿に奉鎮する神殿を解体し、各事業所で担当部材を漆塗（中塗まで）、彩色施工し、本年度の研修では、各部材を集め、現地で漆上塗り研修、金箔押し研修を2回に分けて実施しました。神殿は弁柄漆塗りの仕様に総数700枚の金箔、背面の御扉には護王神社の脊属であるイノシシの彩画の仕上がりとなりました。

神明造の社殿では、通常、漆塗りや金箔などの装飾を施しませんが、研修ということで、神社様にもご了承を得、自由な装飾をさせていただくことができました。平成23年3月に竣工を迎えた祈願殿は、地元紙にも取り上げられ、本研修についても紹介されました。

漆

【期　間】平成22年11月9日（火）～11月12日（金）
【講　師】山下 忠彦（邑田漆芸株式会社）
【参加事業所】
㈶塩尻・木曽地域地場産業振興センター、㈱小西美術工藝社、㈱さわの道玄

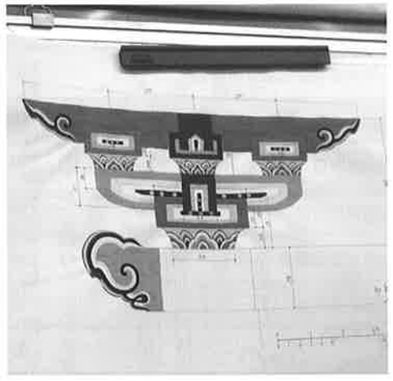
金箔

【期　間】平成22年12月1日（水）～12月3日（金）
【講　師】浅見 紀子（有限会社浅見箔）
【参加事業所】
㈶塩尻・木曽地域地場産業振興センター、㈱小西美術工藝社、㈲齋藤漆工芸、㈱さわの道玄、邑田漆芸㈱

建造物装飾模型製作研修

【期　間】平成23年2月24日（木）～2月26日（土）
【場　所】㈱小西美術工藝社 日光工房（栃木県日光市）
【監修・講師】窪寺　茂（公益財団法人 文化財建造物保存技術協会）
【参加事業所】㈱片山、㈲川面美術研究所、㈱小西美術工藝社、㈱さわの道玄

22年度から26年度の5年間プロジェクトとして開始した建造物装飾模型製作研修は、漆・彩色・丹塗・金具の4部門で一つの模型を完成させるというものです。各部門の技術を集大成した模型製作を通し、技術者の技術を継承・練磨し、また製作後には模型を展示することで、一般の方に我々の仕事を知って頂きたい、という思いから企画されました。



本体となる模型は小倉建築設計事務所の小倉義人氏らの手で施工、プロジェクト監修には公益財団法人 文化財建造物保存技術協会の窪寺 茂氏を迎え、株式会社小西美術工芸社 日光工房にて第一回目の研修が行われました。

初年度となる今年は、窪寺先生より建築装飾の歴史的展開や技法についての講義を頂戴し、2日目からは参加した4部門それぞれの研修生がアイデアを出し合い、模型の施工・装飾内容を検討していきました。

江戸初期（17世紀前後）を想定した意匠を完成した姿と工程の両方で表す「資料模型」として施工していくという施工計画は、年度末の理事会で承認され、23年度は漆の下地付けより実技研修が開催される予定です。

平成 22 年度　研修事業参加者人数集計結果

法人名　年度	19	20	21	22	合計
㈱大谷相模掾鋳造所	2	0	0	1	3
㈱片山	1	2	4	4	11
㈲川面美術研究所	4	9	10	3	26
岸野美術漆工業㈱	0	0	0	0	0
㈱小西美術工藝社	5	5	7	10	27
㈲齋藤漆工芸	2	2	2	4	10
㈱さかい	3	1	1	0	5
㈱さわの道玄	8	6	10	11	35
㈶塩尻・木曽地域地場産業振興センター	7	2	2	2	13
㈱はせがわ美術工芸	2	2	2	1	7
㈱細川社寺巧芸社	0	0	0	0	0
邑田漆芸㈱	1	2	3	3	9
㈱森本錺金具製作所	2	1	2	1	6
㈲横山金具工房	2	0	0	0	2
				延べ	154

平成23年度 社寺建造物装飾技術者研修事業計画（国庫補助事業）

伝承者の養成

1. 建造物装飾修理用資材検討調査研修会　研修期間：平成 23 年 10 月 5 日～ 10 月 7 日 (予定)

◇研修内容　初級・中級技術者を対象とし、漆や膠、地金などの建造物装飾修理に欠かせない材料について、部門ごとに講師を招き、その現状や問題点を検討し、改善策を立て、今後の修理に生かす。

2. 会員研修会　研修期間：平成 23 年 10 月 14 日～ 10 月 15 日

◇研修内容　古社寺を訪ね、伝統建造物に於ける装飾分野の研鑽を深め、日本文化への更なる広い視野を持った人材を養成する。

3. 後継者養成実技研修会　研修期間：平成 23 年 7 月～平成 24 年 2 月（この間の 10 日間程度で実施）

◇研修内容　各種美術工芸教育機関と連携し、文化財建造物装飾に関心のある後継者を会員各事業所にて受け入れ、仕事の実際を体験してもらうことで、将来の後継者養成に繋げる。

技術技能の練磨

4. 固有技術向上研修会

●丹塗技術研修会　研修期間：平成 23 年 6 月～ 9 月（この期間の 10 日間程度で実施）

◇研修内容　丹塗技術の実作業であるケレンから仕上げまでを、大原野神社（京都市）神門と透塀を教材に実技研修する。

●彩色技術・調査研修会　研修期間：平成 23 年 11 月 17 日～ 19 日（予定）

◇研修内容　建造物彩色技術研鑽を目的とした調査、実技研修を行う。また、関係講師を招いて、本分野の見識を高める。

●金工技術研修会　研修期間：平成 23 年 9 月 2 日～ 9 月 3 日

◇研修内容　初任・中級技術者を対象とし、製作現場や関係機関を訪れ、金工技術の見識を深める。

●建造物装飾模型製作研修　研修期間：平成 23 年 7 月 18 日～ 21 日 (予定)

◇研修内容　伝統建造物の模型を作成し、各部門の装飾施工を行う。模型製作を通じ、技術者の技術・技能の練磨を目指す。製作後の模型は展示に使用し、建造物装飾の技術や文化建造物保存への理解を広く世に伝える。

社寺建造物美術協議会 名簿

平成23年3月

No.	企業名	氏名	所在地	TEL・FAX番号
1	㈱大谷相模掾鋳造所	大谷哲秀 (大谷秀一)	〒537-0011　大阪市東成区東今里 2-6-20	TEL.06-6971-6571 FAX.06-6971-6511
2	㈱　片　山	片山富夫	〒601-8303　京都市南区吉祥院向田東町 10	TEL.075-322-1236 FAX.075-316-6333
3	㈲川面美術研究所	荒木 かおり	〒616-8242　京都市右京区鳴滝本町 69-2	TEL.075-464-0725 FAX.075-464-0099
4	岸野美術漆工業㈱	岸野　勲	〒321-1404　栃木県日光市御幸町 587-2	TEL.0288-53-3366 FAX.0288-54-0072
5	㈶塩尻・木曽地域 地場産業振興センター	小口利幸	〒399-6302　長野県塩尻市木曽平沢 2272-7	TEL.0264-34-3888 FAX.0264-34-2832
6	㈱小西美術工藝社	小西美奈	〒108-0014　東京都港区芝 4-4-5　三田ＫＭビル３階	TEL.03-5765-1481 FAX.03-3455-9250
7	㈲齋藤漆工芸	齋藤敏彦	〒250-0631　神奈川県足柄下郡箱根町仙石原　1285-381	TEL.0460-84-2802 FAX.0460-84-0770
8	㈱　さ　か　い	酒井清裕	〒520-2331　滋賀県野洲市小篠原 7-1	TEL.0775-87-1178 FAX.0775-87-5355
9	㈱さわの道玄	澤野道玄	〒604-8232　京都市中京区錦小路通油小路東入る空也町 491	TEL.075-254-3885 FAX.075-254-3886
10	㈱はせがわ美術工芸	清原久視 (田鹿秀夫)	〒822-0011　福岡県直方市大字中泉今林 885-26	TEL.0949-24-7211 FAX.0949-24-7221
11	㈱細川社寺巧藝社	細川夫美子	〒651-2242　兵庫県神戸市西区井吹台東町 1-5-13-301	TEL.078-997-7178 FAX.078-997-7179
12	邑田漆芸㈱	邑田正廣	〒607-8355　京都市山科区西野大鳥井町 118-45	TEL.075-591-4137 FAX.075-502-0638
13	㈱森本錺金具製作所	森本安之助	〒600-8321　京都市下京区楊梅通西洞院東入る八百屋町 59	TEL.075-351-3772 FAX.075-361-8877
14	㈲横山金具工房	横山智明 (横山義雄)	〒601-8394　京都市南区吉祥院中河原里北町 14-3	TEL.075-325-4861 FAX.075-325-4862

お知らせ

お祝い

去る平成22年5月7日、錺職の第一人者であり、当協議会副会長の森本大隆様が四代目 安之助を襲名されました。おめでとうございました。

お悔やみ

当協議会会員の酒井 清様が去る平成22年7月2日にご逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り致します。

編集後記

今年度から事務局を務めさせていただき、暗中模索ながら、前事務局の四元さん（㈱さわの道玄）、関西事務局の山本さん（㈲川面美術研究所）、そして理事・会員の皆様からのご助言により、なんとか一年目を終えることができました。厚く御礼申し上げます。

23年度も一層精進いたしますので、ご指導の程宜しくお願い申し上げます。（須田）